

令和6年度 第2回 函南町立図書館協議会 議事録

- 1 日 時 令和7年2月5日(水) 午後3時00分～午後4時15分
- 2 会 場 かなみ知恵の和館 2階 研修室2・3
- 3 出席者 会長 石田 和久 学識経験者
副会長 稲葉 優子 家庭教育活動者
委員 関口 直 学校教育関係者
委員 富永 和彦 社会教育関係者
委員 佐藤 泰博 社会教育関係者
委員 遠藤 弘美 学識経験者
委員 山本 哲也 学校教育関係者
事務局 渡邊 美奈子 函南町立図書館館長
牧野 満枝 生涯学習課(図書館)主事
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴人の数 0人
- 6 内容
- 1 開会
 - 2 あいさつ 図書館長 渡邊
 - 3 報告事項 (1) 令和6年度事業報告
 - ・令和6年度に実施した図書館事業について、参加状況、実施内容等を新聞掲載記事等を利用し報告し、併せて図書館の年間利用状況と蔵書数等について報告した。
 - 4 協議事項 (1) 令和7年度の事業計画(案)について
 - ・既に他課との連携により日程が決定している事業について計画案が示され、令和6年度の事業を継続して実施するもの、内容を検討して実施するものを説明した。また、図書館講座等事業の各種イベントについては情報発信に努め、日程が決定し次第行事予定に取り入れていく。

各委員から出されたご意見

- 委員 図書館が開館して十数年の間に充実した活動をしてきている。幼児、未就学児からお年寄りまでの年代に広がりながらイベントや事業が定着してきているのはすばらしい。図書館は社会教育施設であるので、生涯にわたり教育を与えるという意味でぶれない活動をしている。
- 委員 図書館に来ようという人は、遊び心が満たされたり、生きがいがづくりに利用しているという声を聞くが、それに応えるような事業ができていると感じる。
- 委員 地域の人を巻き込んで活動しているのが良いと思う。周りを巻き込んで実施すると地域に根差したものになる。
- 委員 ゆりかごから墓場までと幅広く好かれる図書館にならなければいけないと思うが、それに近づいてきている。
- 委員 高校生にも活動の場を与えているのは、大人になっても来なくなる図書館につながっている。ここまでの運営が、まわり(ボランティア)の協力で出来上がったのはすばらしい。
- 委員 小学校でも、コミュニティスクールの活動をしている。子どもたちが自ら本を借りていく姿勢が多くみられるよう工夫してほしい。
- 委員 この図書館は、来やすいし、リピートしたくなる。その理由の一つとして館内の配置の工夫がある。階段を上がると新刊が目につきわくわくするし、じっくり読書したい人、学習したい人、調べものをしたい人

など、利用者のニーズにあった使い方ができている。

- 委員 図書カードの作成については、新入園児はもちろんのこと、在園児からの依頼も多くなった。絵本の貸出は、司書の選書により園児に適切であり、先生方の選書の偏りもなくなり、助けられている。
- 委員 長い間、函南町で読み聞かせを続けている方々と繋がり、今も一緒に活動をしていることができる。子どもたちに伝えたい本を、おはなし会などを通して続け、夜のおはなし会にも広げてきたことが、芽吹き、実って成熟してきているのではないかと思うと感慨深い。
- 委員 図書館主催の文芸かなみでは、俳句や短歌、エッセイ等の応募を毎年募り、発表の場としてくれている。昨年度からは、短編小説も加わり、発表の場を求めている作者たちの発表の場を広げている。相乗効果として、図書館で資料を借りたり、言葉の理解を深めたりと図書館通いが多くなる。
- 委員 図書館には、楽に読める大活字本やループが備わっており、高齢者等がストレスレスで利用できる。
- 委員 年をとっても「心に残る絵本」の特集があった。何故、どうしてという疑問に答えてくれた絵本、自分の生き方に影響があった絵本、介護で苦しいときに読んだ本、また感銘を受けて忘れられない本など、大勢の方が一つ二つと心に残っている絵本があるのを知り、同感であった。図書館の活動では、互いに知恵を出し合い、地域のボランティアの意見を聞いていっしょに活動していくことが大事である。
- 事務局 令和7年度においても、今年度事業で評判の良いものは継続し、見直して実施するものや新たに切り入れていくものを検討し新年度につなげていきたい。

(2) その他図書館事業全般について

- 委員 新刊コーナーを楽しみに見ている人にとって、手に取る前に一般書架へ並び替えられると、借りられている時に来た利用者は、自分の読みたかった図書を見過ごしてしまうことになるため、もう少し工夫できないか。
- 委員 本がありすぎて、どの本から読んでいいかわかりにくいので、今読まれている本の人気ランキングなどを掲示したらどうだろうか。
- 委員 絵本専門士等による「読み聞かせ」は、親子だけでなく大人も参加したい希望がある。また、読み聞かせの良さを広げるため、ゲストティーチャーリストに加えてほしい。
- 委員 図書の背表紙だけを見ていると中々手に取らない本の表紙や厚さなど全体を見ることで興味が増すこともあると思うので、テーマ展示などは読者に伝わりやすい手段である。館内のテーマ展示は充実している。
- 委員 本の薦め方として、図書館に係るボランティアお薦めの3冊セット本の貸出や押し本などをお薦めする企画をしてみてはどうか。新刊だけでなく、語り継がれる本を紹介し、読書のきっかけにしよう。